

1 日時 令和6年3月15日（金） 午後3時30分から午後5時まで

2 場所 徳島県立富岡西高等学校 多目的室

3 会次第

(1) 学校運営協議会 会長挨拶

(2) 富岡西高等学校 校長挨拶

- ・本年度の学校運営について
- ・令和6年度の重点項目について

(3) 報告

①SSH台湾海外研修（2023年12月19日～12月23日）について

生徒たちが、スライドや動画を使って、台湾研修の内容や参加した感想を報告した。

②現在の進路状況・進路指導について

長瀬進路指導課長が、令和5年度進路状況について報告。

③主な行事・次年度の教育課程について

四宮教務課長が、主な行事・次年度の教育課程について報告。

④SSHの取組、地域連携・国際交流について

中村SSH課長がSSHの取組について、田中国際課長が地域連携・国際交流について報告。

⑤特別活動等の取組について

宮本教頭が、カジュアルデーや新制服プロジェクト等について説明。

⑥長寿命化工事について

小綿事務課長が、北校舎の長寿命化工事の完成について報告。

(4) 協議・助言

(ア)「学校評価総括評価表」の総合評価の基準はどうなっているのか。学校の目標は「生徒がどう変わったか」ということが大切であり、生徒の変容に着目して評価してほしい。形式も内容も、よりシンプルにして重点項目を分かりやすくするとよい。

(イ) 台湾交流などの経験が、生徒の成長につながっている。この体験をぜひ他の生徒にも伝えてほしい。→2月に全校生徒の前で報告の場を持った。

(ウ) 制服について、生徒から意見が出てきたのはよい。生徒の声を大切にして進めてほしい。

(エ) 部活動と勉強の両立を大切にしてほしい。

(オ) 他校では、食堂がなくなり生徒が不便している。富西は今後ともぜひ食堂を継続してほしい。

(カ) 本校のOBで活躍している人は大勢いるので、SSHでその人材を活用していくとよい。

(キ) SSHの次期申請が通ってよかった。

(ク) 生徒が主体となって、カジュアルデーなどの新しい提案がなされるのはよいことである。

(ケ) 運営協議会の目的は、学校外部の人に意見を聞くことなので、教員の説明に時間を割くよりも、もっと議論の時間を設けるべきではないか。

(コ) 本日報告のあった活動のすべてが学校の魅了化につながっている。現在行っている活動を今後も続けていくとよい。あとは、活動をどのように広報していくかということも考える必要がある。

(サ) 子どもたちの変容を評価していくことは大切である。いちばんの発信は、生徒たち自身から「富西はいい学校だ」ということばが聞こえてきて、それが広く伝わっていくことである。

(シ) 富西のホームページを毎日確認するようにしている。生徒や保護者には分かりやすいが、中学生には魅力が伝わりにくい。中学生にも魅力が伝わるよう発信する工夫が必要である。

(ス) 修学旅行のバスの発着地を学校にすることはできないか。
→敷地内にバスが入れるように、県に要望を続けていく予定である。

(5) 校長 お礼あいさつ